

地域密着型サービス自己評価票

- ・ 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- ・ 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 21 年 2 月 10 日
事業所名	医療法人寿光会グループホーム藤岡
事業所番号	2393000068
記入者名	職名 管理者 氏名 橋口 節子
連絡先電話番号	0565-75-3710

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「心の介護」を基本理念として笑顔へ導くサービスの提供を実践している。玄関横に独自の理念を作り掲示している。	○	開設して1年目を迎え今でも「心の介護」を念頭に入居様、ご家族様、そして地域に密着し必要とされるグループホームとなるように勤めていく。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は施設の玄関に掲示し会議時等で確認している。	○	理念の実践が日々取り組めるように職員間のコミュニケーションを大切にしている。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念を玄関に掲示し地域には運営推進委員会などの場において話をさせて頂いている。	○	老人会、地域の盆踊りなどに参加をして交流を深めていきたい。
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常の挨拶も出来ており、施設行事などには近隣の方達にも案内を出し参加をして頂いている。		日々の挨拶や施設行事への参加の案内などを出し今後更に馴染みの関係となるように勤めていく。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の発表会などに参加して、施設行事には中学校や地域の方達がボランティアとして参加して頂いています。	○	小学校の行事への参加、町内の盆踊りへの参加などに取り組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の災害時にはホームを避難所として活用してもらえるようにしていく。	○	地域密着を目指し地域に必要とされるホームとなるように取り組んでいく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	朝礼やカンファレンス等にて自己評価や外部評価についての研修を行っている。	○	運営推進委員会などで結果報告や向上の為に具体的な取り組みを行っていく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回施設の現状、実際行ったサービス、施設行事などの報告をし意見交換をしている。	○	地域の人達との交流の機会を増やすように努めていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村が主催する会議や研修には積極的参加をしている。	○	情報の共有や早期の課題解決、又サービスの質の向上を目指し地域密着となるホームとなるように助言をいただけるように取り組んでいく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在1名成年後見制度を利用して職員間でも学習し理解している。	○	成年後見制度についての勉強会を行っていきたいと思っています。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	カンファレンスなどで職員には注意を促している。	○	専門的知識の習得の為研修会への参加や会議等活用し学習会を開催し実地していく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は勿論、解約時にも十分に説明し以後の生活の場を確保し納得して頂いている。	○	退去後も利用者様やご家族様からの感想を反映していけるようにする。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満や苦情を何時でも申し出る事ができ御意見箱の設置又玄関横に重要事項説明書を掲示している。	○	玄関に御意見箱を設置している。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月施設行事時の写真や次回の行事の案内を発行している。	○	特変事には必ず電話で報告し了解を得ている。行事も事前に連絡し参加して頂けるようにしている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃からご家族には詳細な事でも話をして貰える様なふんいき作りに留意している。	○	御意見箱設置している。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は職員の自主性を尊重し会議や日々の申し送りの際提案事項等を聞くようにしている。		職員は前向きな姿勢が見られる。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の方の状態の変化に応じて夜間の対応や緊急時に対応する体制になっている。		継続していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設1年目を迎えますが、離職者が1人もなく入居者様とも良い関係が保たれている。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外で開催される研修には多くの職員が受講できるようにしている。		研修報告書をカンファレンスや会議等で活用している。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の研修会には多くの職員が参加できるように又サービスの質の向上を目指した取り組みをしている。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の状態を把握し密に話し合いなどを行いストレスや悩みを溜めないように気配りに努めている。(3ヶ月に1回親睦会を設けている)		親睦会の場をもっと多く設ける必要性を考えている。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の資格取得やスキルアップに向けての支援をしている。資格取得後は最大限に活かせるような環境作りに努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	当グループホームでは本人がサービスを希望しサービスの開始に至る時に事前に面接を行い3者面接、家族との2者面接を行い気兼ねしないで話ができる場を設けている。	○ 本人、家族との信頼関係の確立を図る為サービスの提供に当たる前2～3回の面接を行い不安の軽減や希望、身体の状態、精神状態、人柄など常に新しい情報を得るように努める。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	当グループホームでは家族がサービスを希望し、サービスの開始に至る時に事前に面接を行い3者面接、家族との2者面接を行い気兼ねせずに話ができる場を設けている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	できることについてはすぐに実行し、できない事ではそれに変わるサービスを提案するなどニーズに答え、他の機関との情報交換により課題の解決を図っている。	○ 本人、家族との信頼関係の確立を図る為希望や不安をできる限り聞き取り、確認を行うとともに何を必要としているのかの把握に努めている。場合によっては他の介護サービスがある事を説明している。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービスの提供に当たっては当グループホームは本人と面接すると共に家族の希望を聞き、本人が納得した上でサービスの提供をおこなっている。又サービスに変更が生じた時には本人と面接し家族に相談し説明をおこなっている。	○ サービス提供に当たっては、本人が納得した上で職員と他の入所者様が協力しあい、場の雰囲気に入り込めるように、又いきなりではなく徐々に場の雰囲気に馴染めるように工夫をしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は本人を介護するだけでなくできなかった事を共に過ごし取り組んでいく中でできたときの喜びを共に分かち合う関係を築いている。	○ 本人の介護を通し以前はできていたのに今はできなくなった事を以前のようにできるようになりたいと本人から話が聞かれる関係を築きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	毎月施設行事を設けその時の写真を送るようにしている。又、家族を交えた行事も行ったりしている。家族には面会時又は電話などで良かった事も行動障害も報告し家族と相談しながらケアをしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の関係は様々で双方の話を傾聴すると共に、本人と家族が良い関係でいられる様に面会時などに言葉を添えるなどして支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や家族、友達が写っている懐かしいアルバムを居室に置いたり、友達の来所時には居室で過ごして頂けるようにしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	強制的に何かをして頂くのではなく、入居者の方の一人一人が協力しあい助け合い、互いにコミュニケーションを取り本人が考え、行動できるように努めている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の施設へ入所された家族と偶然外出先で出会った時など最近の様子など聞いたり入院され退所になった場合でもお見舞いに行ったり退院後の相談に乗り支援させて頂いている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	情報を得る為入所者同士の会話や入所者様全員が集まっている時、個人個人に聞くなどして希望、意向の把握に努め話された内容は記録として残し行事に取り入れ無理な場合には家族に協力を仰いでいる。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の面接では話しに出こなかった生活や暮らし方生活環境など家族や兄弟の来所時に聞くなどして情報を集め日誌やサービス担当者会議でケアプランに生かしている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個人別に表を作りバイタルチェックを1日1回行い異変の早期発見に努め異変時には定期的にバイタルチェックを行いカルテと業務日誌にも記入している。又月2回の主治医の往診や希望があれば訪問看護も行っている。有する能力、過ごし方についてもカルテと日誌に記入している。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	面会時に家族の方に現在の様子を説明した上で要望、希望を話して頂きケアプランの作成に生かしている。又定期的に行われるサービス担当者会議では次前に入所者様の担当職員より問題点を書き出してもらい他の職員と協議し他の職員からの問題点を聞き取り協議を行いケアプラン作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調の変化や認知症の急激な変化にケアプランが間に合わず対応（介護）が先に始まりケアプランが後手にまわっている。家族への報告は行っている。	○ 毎月サービス担当者会議を行い各入所者担当の職員は問題点以外の気がついた事も記入し他の職員も会議時には問題点又は気がついた事を互いに話し合い協議しケアプランのサービス内容に取り込んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人のカルテ、日誌に記録すると共に申し送りノートに記入し情報を共有し次に生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の要望に応じて通院の送迎や買い物代行等を行っている。又同法人のDrによる月2回の主治医往診、訪問看護を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の支援センターや地域のほのぼのサロン、民生委員の人にも出席してもらい運営推進委員会行い意見やアイデアを頂いている。消防からは救命講習も行っている。	○	地域のボランティアさんにも協力してもらおう行事の時だけではなく個人的な外出も支援センターのケアマネジャーさんを通じて色々情報を頂く。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	当施設で介護や日常生活の支援をしているがボランティア等地域のケアマネジャーと話し合い支援をしてもらっている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在の入所者様は皆家族があり、必要に応じて家族と連絡を取り本人の意向に配慮しているが包括支援センターのケアマネジャーさんに意見をもらったりしている。	○	定期的に運営推進委員会を行い意見や情報をもらっていく。行事に可能な場合出席して頂く。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	月2回往診。健康診断
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入院や他の施設への入所又は家庭へ帰る場合も含めどんな生活をしてきたか、どんな治療を受けていたかを中心に十分な情報交換を行う。	○	関連施設との関係作り
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様への敬意を持ち声かけをし心理的、環境的状況を把握し配慮した言葉かけをしている。個人情報事務所で管理し守秘義務を厳守している。	○	個人情報の取り扱いは全体会でも再度指導する。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者様の意志、希望は最優先にし、おしつけない介護をしている。	○	時々何がしたいかなど入居者様との話し合いの場を設けている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の1日のペースを優先し希望を聞くようにしている。レクレーションも入居者様と話し合いをしやりたい事を企画、実地、提供している。	○	レクをする時などは声かけはするが強制は決してしない。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容利用同意書を交わし2ヶ月に1度訪問理美容にて希望される方の散髪を実地している。家族にて美容院を経営されている方は希望時ご家族に連絡をしている。	○	現在の入居者様は散髪のみ希望であるが今後は毛染め、パーマの希望があった場合も応じていけるようにしておきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備、調理、方付けは個々の潜在能力に応じて声かけをしながら行っている。スタッフも一緒に食事をし、見守り、声かけ・などしながら個々の好みの把握にも努めている。	○	食欲の低下が見られる時は好まれる物を用意したり体調不良は希望を聞きおかげにするなどしている。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	コーヒー好きな方などある程度時間にこだわる事なく、本人の希望時に提供できるようにしている。希望を聞いて手作りおやつを作る機会を作っている。	○	希望される物が和菓子が多くスタッフは作り方等調べたり、勉強しレパートリーを増やすように考えている。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを把握し自尊心を傷つけないよう配慮しトイレ誘導を行っている。	○	排便がスムーズでない方は医師と相談しながら排便コントロールを増やすように考えている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日は決まっているが午前、午後と本人の希望を伺っている。音楽をかけたりゆったりとした雰囲気作りをしている。	○	冬は暖房を入れ夏はすだれをかけ開放的な雰囲気を入浴剤なども利用している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々のペースで就寝されている。昼寝やベッドで横になる休息時はご本人の希望にて自由に行っている。	○	体力が低下している時や夜間あまり眠れない時はスタッフからも昼寝の声かけをさせて頂いている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩に出かけたりミニ菜園や花壇など水やりなども積極的にして下さり継続できるように支援している。歌や得意な楽器で練習し発表の場を設けた。	○	現在は、ミニ菜園だが今後は近くに畑があるので収穫作業なども行っていきたい。地域での発表や交流も進んで参加していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理出来る方は小銭は自己にて所持されており、買い物等に行った時はご自分の好きな物を選び支払い購入して頂いている。	○	近くに歩いていける店がないので車で外出時、通院時など個別に買い物できるような機会を増やしていきたい
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、散歩に出かけたり日なたぼっこをしている。	○	季節に応じて植え変えなどしていく事で季節感も味わって頂いています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お墓参り、お見舞い等はご家族様と外出していただいたり、イチゴ狩りや花見等ご家族様にも声かけをして一緒に出かける機会を作っている、お弁当を持って外出する機会等も作っている。	○	外出行事の際は、ご家族様にも事前に案内をだし参加を呼びかけています。今後外食なども取り入れていきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望時その都度応じている。手紙、年賀状等は出せるように支援している。	○	本年は全員ご家族様に年賀状を出すことができました。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の規制はせずいつでも来所して頂いている。行事等のご案内をし参加して頂く事もある。職員は元気に明るく挨拶ができる様に心がけている。	○	家族の面会は現在も多くスタッフにも気軽に声をかけてくださり信頼関係を崩さないようスタッフ全員が務めている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束にあたる行為は一切行っておらず、声かけや見守り等で対応している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中については、常に開錠している。外に一人で出そうな入居者様に対しては、スタッフ同士で連携を取り見守り対応している。	○	常時開錠し心理的圧迫の内容に努めている。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は、スタッフが常に見守り、介助を行う体制をとっている。夜間についても二時間おきに巡視等行い入居者様の変化に注意をしている。	○	ヒヤリ、ハットで起きた事例等はスタッフ全員で検討し安全の配慮に努めている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物や薬等については、目の届く所に保管しないようにしている。ハサミや爪切り等使用する際は必ず見守りをしている。	○	再度注意の必要な物品については保管、管理の仕方を徹底して事故防止に努める。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリ、ハットがあれば必ず書式に記入し事例とし事故につながらない様に配慮している。一人一人から予測される危険については申し送りを通じて情報を共有している。	○	些細な変化にも気を配り又起こりそうな事も検討し未然に防止できる様に努めている。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全スタッフに対して救急救命の研修を行っている。	○	急変や事故が発生した場合の対応やマニュアル等を作成し敏速に対応できる様にしている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の実地する避難訓練等を実地している。	○	地域の方達とも連携して行える様協力を呼びかける様にしていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に した対応策を話し合っている	入居時及び状態の変化の確認時等ご家族様の起こりえるリスクを説明し了承して頂く様に話させて頂いている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定。尿、便のチェックし排便の確認。顔色や食欲、元気のなさや皮膚や目の状態をみている。	○	申し送りの際には体調の変化を伝え又入浴時には各入居者様のバイタルチェックをしてから入浴を行う。受診が必要な時にはご家族に連絡し受診の支援をしている。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は間違える事のない様にチェック表に何の薬を何時服用しているかを記入し飲ませたスタッフは責任をもってサインをするようにしている。	○	服薬の薬の一覧表（何時飲むか、何の薬か）を作成している。外用薬については使用者名と薬の名前を記入しスタッフがすぐわかるようにしている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	チェック表に排便を記入し何日出ていないかを把握する。量や便の硬さも記入し便ピがひどくならない内に水分と共に医師処方の薬を服用する。	○	毎食のお茶等飲み物による水分補給。10時、15時のおやつ時間、入浴後水分補給、その他夜間や希望時水分補給をする。 毎日体操を行っている（10分ぐらい）
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きを行っている。入れ歯の人も入れ歯を外し磨き口をゆすぐ。又入れ歯のない方は口をゆすいでいる。	○	毎食後の歯磨きや毎食前のうがい
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量を毎食行っている。水分摂取の状態も毎食行っている。チェックは行っていないが10時、15時入浴後の水分補給をおこなっている。	○	一人、一人の状態に応じて普通食、粥食、キザミ食を実地している。（入居前の食事形体を参考にし、又入居後状態に応じて変更しています）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染対策委員会を毎月一回行っており予想されるリスク、現在の状況、入居者様の情報を全スタッフで話合う。 テキスト本（ひかりのくに社）感染症、衛生管理の知識と心構え	○	全スタッフの感染予防に対する意識の向上
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材を適切に管理し使用している布巾、まな板は毎晩消毒している。 賞味期限の確認	○	食事作りの前の手洗い、途中他の作業をした時も手洗いをしてから食事を作る。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先を清潔にし物を置かない。 楽しんでもらえる様に出入口のプランターの花を絶やさないようにしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関入口、リビング、トイレ等に花を飾っている。居室、リビング、トイレ、事務所すべて毎朝掃除を行っています。又居室の湿度と温度には気を配っている。	○	リビングや廊下の壁などに入居様達の作品や予定表を掲示して生活感や季節感を取り入れてます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内のテーブルの座る位置をご本人様の好みに合わせ配慮している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた食器、容器、電化製品、飾り物などを入居時持って来て頂き居心地良く過ごしてもらっている。 居室の掃除を毎日行っています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	全室の換気と温度調整を行っています。 布団干しやシーツ交換なども定期的に行っています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、廊下に手すりを設けている。車椅子が入れるトイレが2ヶ所ある。生活空間の整備、環境と安全への配慮に取り組んでいる。体操やレクなどで身体を動かしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ、浴室、居室にプレートをかけてわかるようにしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外周りに花や野菜を植え楽しんで頂いている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

〈力を入れている点〉・・・自然に囲まれた環境の中で、スタッフ一人ひとりが利用者様の事を考え、毎日の生活を手助けすると共に利用者の方の今の能力を活かすことよ
うに良い人間関係の中でリハビリを行ない楽しく穏やかに生活を継続できるように力を入れています。

〈アピールしたい点〉・・・地域に開かれた施設として地域の人達や御家族達、地域のケアマネの方達、民生委員の方やボランティアの方達の協力を得て、地域に密着した施設を目指し、母体である病院などと連携した往診などを利用し医師と相談しながら利用者の方達の保健維持に努めていきます。